



広報 —ご家族皆さんでご覧ください—

ふたば

声かけ合あう! 双葉

11

災害版No.18 11月号
2012



表紙写真：楽しく学習しました（ヤクルト工場見学）

平成24年11月1日発行 編集・発行 / 双葉町埼玉支所 秘書広報課

平成23年度

9月18日から開催された第3回双葉町議会定例会で、平成23年度の歳入歳出決算が認定されました。平成23年度の一般会計の決算額は、歳入（収入）が80億2,168万7千円、歳出（支出）が75億4,426万4千円となりました。歳入から歳出を差し引いた形式収支は4億7,742万3千円となり、形式収支から翌年度（平成24年度）に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、4億3,536万1千円の黒字となりました。

般会計決算報告

一 嶽 入 一

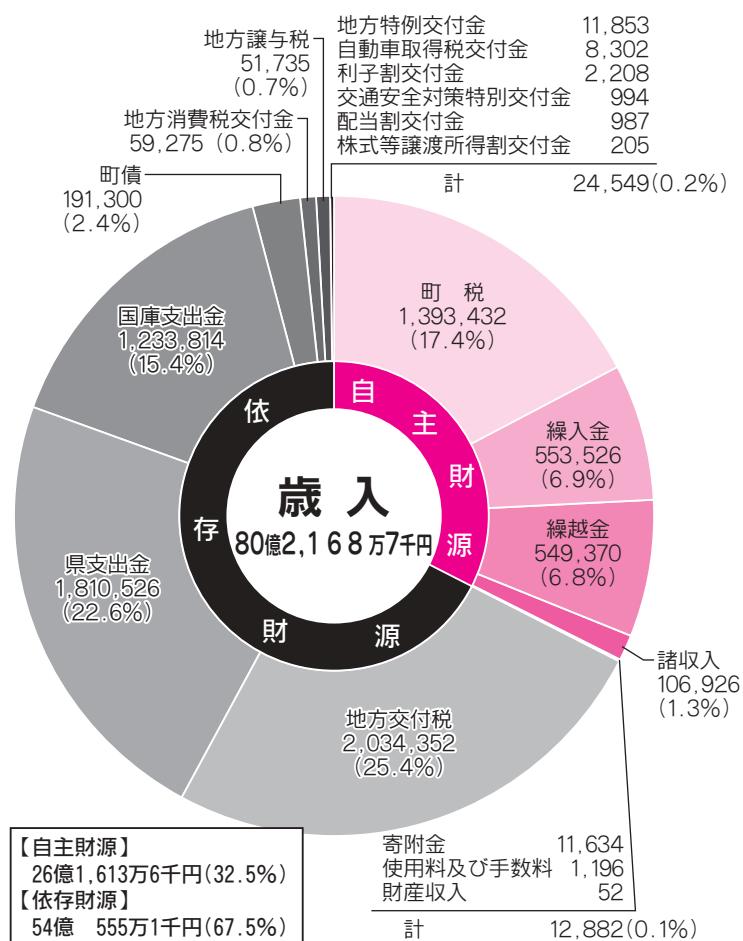
一般会計の歳入決算額は、前年度決算額と比べて19億3,348万円（31・8%）の増となりました。このうち町自らの手で収納できる自主財源（町民税、固定資産税など）は26億1,613万6千円で、歳入総額の32・5%を占め、前年度と比べて2億6,083万9千円（9・1%）の減となっています。

自主財源のうち町税は13億9,343万2千円で東日本大震災及び原子力災害による被災者に対する税の免除等の措置により、前年度と比べて6億6,494万6千円（32・3%）の減となりました。国庫支出金や県支出金、町債などとの依存財源は54億555万1千円で、歳入総額の67・5%を占め

ています。依存財源のうち国庫支出金は12億3,381万4千円で、電源立地地域対策交付金の初期対策分（平成22年度で交付終了）の減などにより、前年度と比べて9億4,802万9千円（43・5%）の減となりました。県支出金は災害救助費や核燃料税交付金（特別分）、市町村復興支援交付金の増額などにより18億1,052万6千円となり、前年度に比べて14億8,625万1千円（45・8・3%）の大幅な増となりました。地方交付税は20億3,435万2千円で、このうち特別交付税は東日本大震災及び原子力災害に係る特例分や震災復興分など合わせて17億3,915万6千円が交付されました。町債は、臨時財政対策債1億9,130万円の借り入れを行いました。

歳入 80億2,168万7千円（前年度比31.8%増）

単位：千円・（ ）内は構成比



■町民一人当たりの税負担

4万7,208円

(単位：円)

| | |
|-------|--------|
| 固定資産税 | 28,327 |
| 町民税 | 17,857 |
| 軽自動車税 | 787 |
| 町たばこ税 | 220 |
| 入湯税 | 17 |

・固定資産税は、償却資産と国有資産等所在市町村交付金10億8,237万9千円を除いて算出
・平成24年3月末現在の住民基本台帳人口6,589人で算出

歳出

歳出決算額は、前年度決算額に比べて20億5,42万7千円（36.2%）の増となりました。

性質別内訳では、人件費、扶助費、公債費からなる義務的経費が17億4,46万1千円で、歳出総額の22.6%を占め、前年度と比べて5千213万1千円（3.0%）の減となりました。このうち、扶助費は災害救助に係る経費などの増により前年度に比べて1億5,303万7千円（41.0%）の増、また、町債の返済にあたる公債費は3億9,499万7千円で前年度に比べ1億1,511万9千円（22.6%）の減となりました。

普通建設事業費や災害復旧事業費などの投資的経費は1億7,314万3千円で、歳出総額の2.3%を占め、前年度と比べて6億3,754万6千円（78.6%）の減となりました。このうち、東日本大震災及び原子力災害の影響を受けて平成22年度から平成23年度への繰越事業分が1億2,814万6千円で、投資的経費の74.0%を占めています。

その他の経費では、補助費等が3億7,464万2千円で、双葉地方広域市町村圏組合負担金の減

費、公債費からなる義務的経費が17億4,46万1千円で、歳出総額の22.6%を占め、前年度と比べて5千213万1千円（3.0%）の減となりました。このうち、扶助費は災害救助に係る経費などの増により前年度に比べて1億5,303万7千円（41.0%）の増、また、町債の返済にあたる公債費は3億9,499万7千円で前年度に比べ1億1,511万9千円（22.6%）の減となりました。

平成23年度 一般会計の主な事業

| 事業名 | 事業費 |
|--------------------------|-------------|
| 支所等管理運営事業 | 5,195万5千円 |
| 福島県議会議員一般選挙費 | 1,650万5千円 |
| 双葉町議会議員一般選挙費 | 220万5千円 |
| 子ども手当 | 1億2,485万3千円 |
| 災害救助費 (物資・生活必需品・弔慰金等) | 3億2,693万7千円 |
| 緊急雇用創出基金事業 | 4,869万9千円 |
| 幼稚園就園奨励費補助金 | 1,498万3千円 |
| 幼稚園給食費等補助金 | 304万1千円 |
| 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費 | 1,850万5千円 |
| 国民健康保険特別会計繰出金 | 6,936万4千円 |
| 介護保険特別会計繰出金 | 1億444万4千円 |
| 福島県後期高齢者医療広域連合負担金 | 7,686万7千円 |
| 後期高齢者医療特別会計繰出金 | 2,152万6千円 |
| 公共下水道事業特別会計繰出金 | 3億4,363万6千円 |

■町民一人当たりの支出額

114万4,979円

(単位:円)

| | |
|--------|---------|
| 諸支出金 | 634,244 |
| 民生費 | 148,532 |
| 総務費 | 98,443 |
| 土木費 | 62,732 |
| 公債費 | 59,122 |
| 教育費 | 36,890 |
| 衛生費 | 34,087 |
| 消防費 | 23,009 |
| 農林水産業費 | 21,662 |
| 議会費 | 12,021 |
| 労働費 | 7,391 |
| 商工費 | 6,769 |
| 災害復旧費 | 77 |

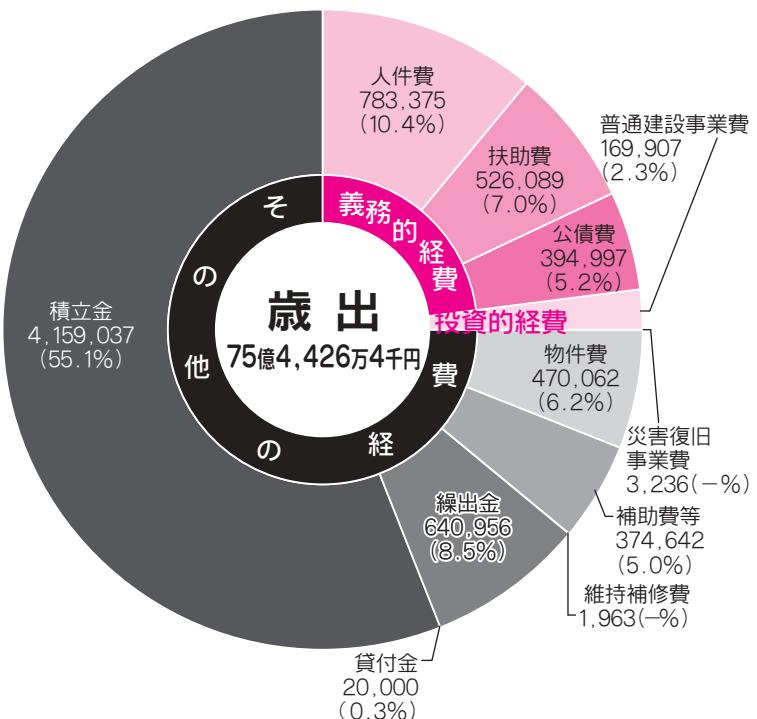
(平成24年3月末現在の住民基本台帳人口6,589人で算出)

などにより前年度と比べて2億2,401万3千円（37.4%）の減となりました。国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療、公共下水道事業などの特別会計への繰出金は、6億4,095万6千円で、前年度と比べて3,191万1千円（5.2%）の増となりました。また、財政調整基金や東日本大震災復興基金、復興まちづくり基金など将来に備えての積立金は41億5,903万7千円で前年度に比べ29億3,650万5千円（24.0%）の大幅な増となりました。

歳出 75億4,426万4千円(前年度比36.2%増)

単位:千円・()内は構成比

| |
|-------------------|
| 【義務的経費】 |
| 17億446万1千円(22.6%) |
| 【投資的経費】 |
| 1億7,314万3千円(2.3%) |
| 【その他の経費】 |
| 56億6,666万円(75.1%) |



平成23年度決算における主な財政指標等

■地方債と基金現在高

地方債現在高

| 会計区分 | 平成23年度末現在高 |
|-------------|--------------|
| 一般会計 | 31億3,094万4千円 |
| 公有林整備事業特別会計 | 3,799万9千円 |
| 公共下水道事業特別会計 | 25億4,983万2千円 |
| 合 計 | 57億1,877万5千円 |

基金現在高（一般会計）

| 基金の種別 | | 平成23年度末現在高 |
|---------|--------------|--------------|
| 積立基金 | 財政調整基金 | 21億6,631万2千円 |
| | 減債基金 | 66万6千円 |
| | その他の特定目的基金 | 54億1,158万7千円 |
| | 小 計 | 75億7,856万5千円 |
| 基定額運用金用 | 土地開発基金 | 2億2,070万円 |
| | 災害援護特別資金貸付基金 | 5,000万円 |
| | その他の定額運用基金 | 1億589万円 |
| | 小 計 | 3億7,659万円 |
| 合 計 | | 79億5,515万5千円 |

■主な財政指標

◎財政力指数 0.84 (3カ年平均)

◎経常収支比率 77.1%

(臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた)
比率：85.2%

*財政力指数

普通交付税の基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3カ年の平均値をいい、「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

*経常収支比率

人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に、地方税、地方交付税などの一般財源がどの程度充当されたかを見る指標で、この比率が低いほど、財政構造に弾力性があるとされています。

平成23年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について

平成23年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率は次のとあります。

1. 健全化判断比率

(単位：%)

| 区分 | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | | 将来負担比率 |
|--------|--------|----------|---------|-------|--------|
| | | | 3カ年平均 | 単年度 | |
| 平成23年度 | — | — | 20.9 | 18.3 | — |
| 平成22年度 | — | — | 23.7 | 21.3 | 98.9 |
| 比率の増減 | — | — | ▲ 2.8 | ▲ 3.0 | 皆 減 |

※赤字額がないため、「実質赤字比率」及び「連結実質赤字比率」は「—」と表記しています。また、将来負担比率も算定されないため「—」と表記しています。

[参考]

(単位：%)

| 早期健全化基準 | 15.00 | 20.00 | 25.0 | 350.0 |
|---------|-------|-------|------|-------|
| 財政再生基準 | 20.00 | 40.00 | 35.0 | |

2. 資金不足比率

(単位：%)

| 区分 | 資金不足比率 | |
|--------|-------------|--------------|
| | 公共下水道事業特別会計 | 工業団地造成事業特別会計 |
| 平成23年度 | — | — |
| 平成22年度 | — | — |
| 比率の増減 | — | — |

※資金不足額がないため「資金不足比率」は「—」と表記しています。

[健全化判断比率及び資金不足比率とは]

平成19年度に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、地方公共団体の財政の健全化を示すために定められた指標です。双葉町では、「実質公債費比率」が高いことから、平成18年度に「公債費負担適正化計画」をスタートさせ、平成21年度には「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく「財政健全化計画書」を策定し、実質公債費比率の抑制に取り組んできました。比率の推移としては、平成19年度決算の30.1%（3カ年平均）をピークに、平成20年度以降は地方債残高の抑制努力により比率を徐々に引き下げ、平成22年度決算で早期健全化基準（25%）未満の23.7%となり、平成23年度決算では20.9%となりました。

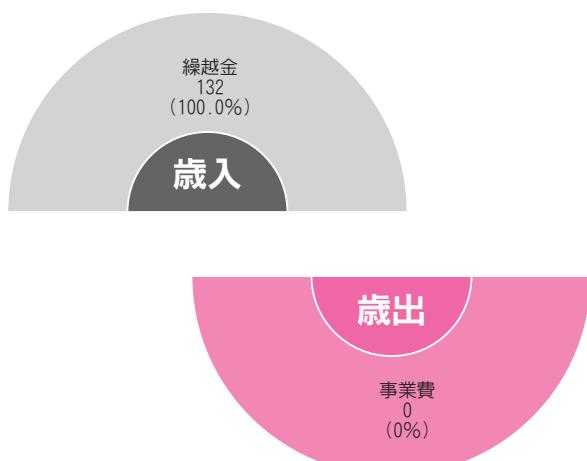
***実質公債費比率** 経常的な一般財源に対する普通会計（一般会計と公有林整備事業特別会計）の公債費や公債費に準ずる債務負担行為（請戸川水系国営水利事業負担金等）、公営企業債（公共下水道事業特別会計）への繰出金、一部事務組合（双葉地方広域市町村圏組合、双葉地方水道企業団）への負担金のうち公債費に充てられた一般財源の割合で、過去3カ年の平均を求めたものです。

平成23年度 特別会計決算

単位：千円・()内は構成比

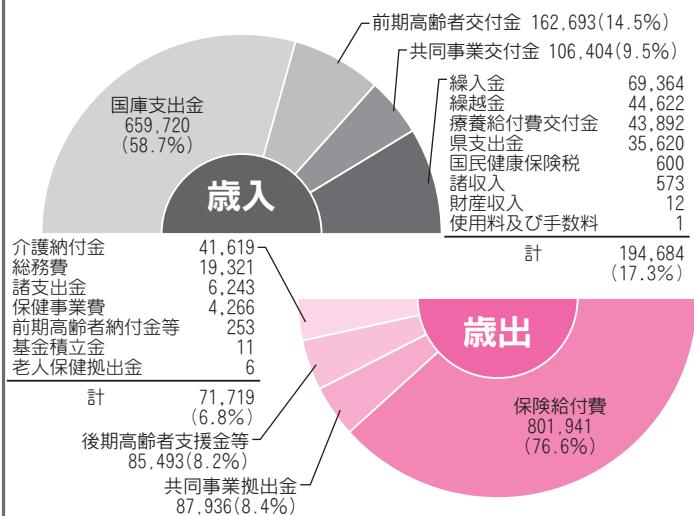
工業団地造成事業

(歳入) 13万2千円
(歳出) 0千円
(実質収支) 13万2千円



国民健康保険

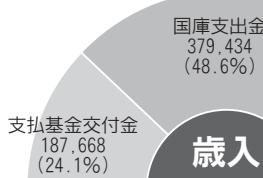
(歳入) 11億2,350万1千円
(歳出) 10億4,708万9千円
(実質収支) 7,641万2千円



介護保険

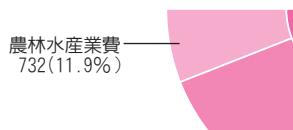
(歳入) 7億8,022万4千円
(歳出) 6億1,981万6千円
(実質収支) 1億5,319万6千円

※歳入歳出差引から翌年度へ繰り越すべき財源(721万2千円)を差し引いた額が実質収支となります。



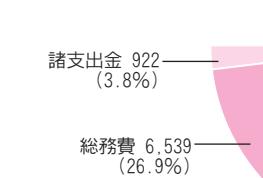
公有林整備事業

(歳入) 617万2千円
(歳出) 617万2千円
(実質収支) 0千円



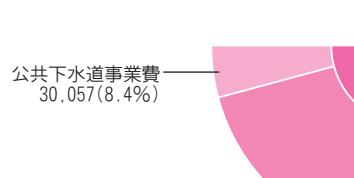
後期高齢者医療

(歳入) 2,495万2千円
(歳出) 2,428万8千円
(実質収支) 66万4千円



公共下水道事業

(歳入) 3億6,164万5千円
(歳出) 3億5,907万5千円
(実質収支) 257万円



双葉町高齢者大学

楽しく学ぼう！



双葉町では、高齢者の方々がそれぞれの避難先での毎日の生活を、より豊かに、より楽しく過ごせるよう高齢者大学を開設しています。

第1回は、永野康明元浪江小学校長（下長塚）による「講演会」を開催し、第2回は「元気に外に出かけよう（大人の社会科見学）」として、大型バスで避難先ごとに、コカ・コーラ工場やヤクルト工場、農産物直売所、名所等の見学学習を行いました。

仲間づくりをしながら、楽しい思い出をつくってみませんか。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

今月号では加須市、白河市、郡山市、福島市の高齢者大学の様子をご紹介いたします。

仙台コカ・コーラプロダクツ株式会社蔵王工場見学（福島高齢者大学）



福島市稻荷神社参拝（白河高齢者大学）

—高齢者大学 社会科見学日程—

- 9月26日 加須市
- 10月9日 白河市
- 10月10日 郡山市
- 10月11日 福島市
- 10月15日 いわき市
- 10月19日 つくば市

※いわき市、つくば市については、12月号でご紹介いたします。

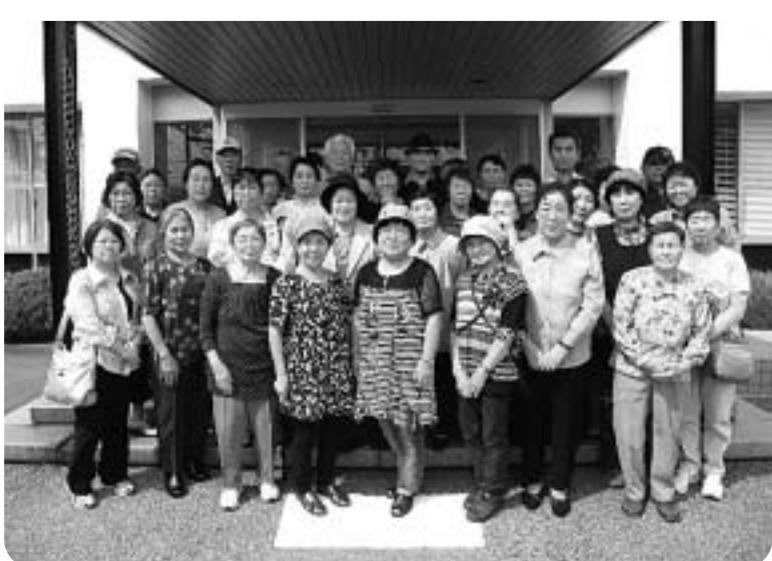




▲農産物直売所で梨の試食



秋晴れの中、参加した皆さんには、和やかに交流しながら楽しく学習し、有意義な一日を過ごされていました。



▲コカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社岩槻工場見学（加須高齢者大学）

町民の皆さんへ

— 良好な関係を —

日増しに秋も深まり、朝夕の寒さが身にしみる季節となりました。

町民の皆さんには、先の見えない生活に心身ともにお疲れのこととお察し申し上げます。

このような状況の中、被災者の気持ちを逆なでするように、福島県は、昨年3月12日午後3時頃に、双葉町上羽鳥にあるモニタリングポストの空間放射線量が毎時1.59ミリシーベルトを超えていたことを公表しました。この線量は一般人の被ばく線量限度である年間1ミリシーベルトを示していた 것입니다。危険を避けるためには、正しい情報を住民に早く伝えるのが鉄則ですが、原発事故から一年半以上が過ぎた公表は、スピードの問題と同様、地域住民の適切な避難に活かされなかつたばかりか福島県の危機管理のあり方が疑われるものです。また、情報公開が遅れしたことに対する誠意ある対応が示されないことは誠に憾なことがあります。

そして、何よりも心配されることは、この時点での避難指示情報を得ることができず、また、情報を得ても避難できないでいた町民が多くいて、その中には妊婦や子供たちがいました。町民の皆さんには、先の見えない生活に心身ともにお疲れのこととお察し申し上げます。

福島県は、すでに甲状腺被ばく健康調査を実施していることを理由に、新たな対策を示しておりません。

しかし、その県民健康調査の信頼性を揺るがす、大きな問題が発覚しており、本来、県民の命を守るべき福島県に対する信頼性が根底から崩れ去ってしまいました。

双葉町は、被ばく検査を独自に実施し、町民の皆さんとの健康不安の解消と将来、不幸にも健康被害が発症した場合、法的に対抗するための証拠として町民の皆さん全員に健康手帳（仮称）を交付することにしております。準備ができましたら、ご面倒でも事故当初から継続的な記帳をお願いします。

役場機能の福島県内の移転がありますが、先月、議会で補正予算の承認をいただき、役場機能をいわき市に移転することにいたしました。仮役場庁舎が整備され次第、業務を行うことにいたします。

受け入れていただいたいわき市長さまはじめ、市民の皆さんに深く感謝を申し上げるとともに、市民の皆さんとの良好な関係を築いていかなければならぬものと考えております。

おめでとうございます



文部科学大臣表彰

地方教育行政の発展に尽くされた功績が顕著と認められ、平成24年度地方教育行政功労者として江尻邦夫前双葉町教育長が文部科学大臣表彰の栄に浴されました。表彰式は10月17日、文部科学省講堂で行われ、田中眞紀子文部科学大臣から表彰状が贈られました。

江尻前教育長は、「この受賞が二期8年の任期を全うすることができた証と考えれば、関係皆さまのご支援に対する感謝の言葉あるのみです。災害により町の現状は激変しましたが、これまでの双葉の教育が子どもたちの心に生き続けることを確信しております。心から喜べない受賞ですが、これを余生を生きる糧と考え、教育には強い関心を持ち続けます」と感想を述べられました。

町長の主な公務をお知らせします

平成24年9月16日～10月15日

- 9月 18日 第3回議会定例会（加須市）
- 19日 第3回議会定例会（加須市）
- 22日 町外における生活拠点の検討のための協議（郡山市）
- 24日 第3回議会定例会（加須市）
- 25日 第3回議会定例会（加須市）
- 26日 環境省との協議（埼玉支所）
- 27日 いわき市副市長との懇談（いわき市）
- 28日 双葉町弁護団との協議（埼玉支所）

- 10月 2日 J Aふたば再生協議会総会（埼玉支所）
- 3日 安倍晋三自由民主党新総裁へ要望活動（広野町）
- 4日 環境省との懇談（埼玉支所）
- 5日 いわき市長との懇談（いわき市）
- 9日 埼玉県副知事との懇談（さいたま市）
- 10日 双葉町工業団地企業との意見交換会（埼玉支所）
- 12日 双葉警察署開所式（楳葉町）
- 13日 コープフェスタ2012（さいたま市）
原発事故子ども・被災者支援法福島フォーラム（郡山市）
- 15日 第2回議会臨時会（加須市）

双葉町長 井戸川克隆



喜びの再会

細谷地区

10月6日、7日、茨城県いこいの村涸沼において、県内外の避難先から細谷地区的老若男女約50人が1年7ヶ月ぶりに集まり、一泊二日の日程で「細谷の集い・交流会」が開催されました。

全体会議では、初めに大橋庸一区長、田中實細谷長寿会会長、鈴木明元区長、羽山君子双葉町議會議員からそれぞれあいさつがありました。続いて、会計の現況報告が行われ、また、役員選出では区長に大橋庸一さん、副区長に高島学さん、会計に田中信一さんが選出されました。

今後の方針として、「細谷の集い・交流会」を福島県内で1年に一回開催すること。

連絡網を整備し、情報の共有化を図ることが決まりました。また、細谷地区出身のフラガーリーダーとして活躍している「大森梨江さん」の後援会の結成が満場一致で決議され、「モアナ梨江後援会規約」が採択されました。今後、後援会の輪を全町的に広げることが申し合われました。

交流会は、細谷地区で昨年の3月11日以降に亡くなられ

た方々に黙とうをささげた後、「双葉町民の歌」を全員で齊唱して始まりました。続いて、斎江さんの両親に今後の活躍を期待して、激励の花束が贈呈されました。久しぶりの再会の感激の中、近況を語り合い、カラオケでは賑わいと盛り上がりました。

次の日は、別れを惜しみつつ次回の再会を約束し、2時間の余韻を残しそれぞの避難先へと帰っていきました。がりをみせました。望郷の念はさらにつのり、万感胸に迫る思いを込めて全員で細谷の風景を思い出しながら、唱歌「ふるさと」を大合唱し、お開きとなりました。

行方不明者の捜索活動

10月15日、大潮の時期を捉えて福島県警や消防、海上保安庁による東日本大震災行方不明者の特別捜索が東京電力福島第一原発事故による警戒区域内で行われ、双葉町からも消防団員11人が参加しました。

防護服に身を包み浪江町如水の駐車場に集合した団員は、福島県警察本部渡部敏久災害対策課長、清川俊彦双葉警察署長よりあいさつをいただき、車に分乗して郡山海岸に向かいました。

足元の悪い中、がれきをかき分けながら郡山海岸や浜野地区の海岸付近において丹念に捜索活動を行いました。残念ながら、行方不明者を発見することはできませんでした。

双葉町の行方不明の方は4人となっています。





喜びの再会

昭和61年度卒 双葉中学校同級会

9月8日、郡山市内のホテルに、全国各地から53人の懐かしい顔ぶれがそろい約10年ぶりの同級会が開催されました。

初めに、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福と双葉町の一日も早い復興を祈り、黙とうをささげました。

続いて、同級生を代表して幹事の山本敦子さんが「1000年に一度と言われる未曾有の大地震が発生し、さらには福島第一原子力発電所の事故によりふるさと双葉町は大変な状況ですが、私たちは前を向いて希望を失わずに頑張つていいきましょう」とあいさつ。代表者から近況報告がありました。そして、勉強に、クラブ活動に励んだ学び舎を思い出しながら、全員で校歌を齊唱しました。

同級会には、担任だった先生方も招き、当時の様子などを話していました。また、昼食を取りながら、東日本大震災のことやそれぞれの近況について時間を忘れて語り合いました。

最後に、変わらぬ友情と健康を誓い、再会を願つて、桑原健治さんの一一本締めで、同級会を閉じました。

にこにこサロンを開催します

平成24年度の福島県内における介護予防事業「にこにこサロン」は、毎月1回次のように仮設住宅等において開催予定です。おおむね65歳以上の方を対象に、「にこにこ体操」や「折り紙」、「脳トレゲーム」、「ぬり絵」等を通して参加者の皆さんと楽しい時間を過ごします。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

平成24年度 11月 福島県内仮設住宅 開催予定日

| 仮設住宅集会所 | 住所・電話 | 開催月日 | 時間 |
|--------------------------|--|------------------------|-------------|
| (いわき市) サポートセンター「ひだまり」 | いわき市南台3丁目1-1 080-6290-5927(高野) | 11月6日(火) (毎月第1火曜日) | 13:30~15:30 |
| (郡山市) 喜久田仮設住宅 | 郡山市喜久田町早稲原字上ノ端54-4 4080-6290-5960(木村) | 11月8日(木) | 13:30~15:30 |
| (郡山市) 富田仮設住宅 | 郡山市富田町字町田11-15 4080-6290-5960(木村) | 11月13日(火) | |
| (白河市) 郭内仮設住宅第二集会所 | 白河市郭内151-29 080-6290-5930(芹川) | 11月15日(木) (毎月第3木曜日) | 13:30~15:30 |
| (福島市) さくら仮設住宅 | 福島市さくら1丁目10-1 080-6290-5941(林) | 11月20日(火) | 13:30~15:30 |
| (福島市) 北幹線第二仮設住宅 | 福島市飯坂町平野字内小原田8-1 080-6290-5941(林) | 11月22日(木) | 10:00~12:00 |

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 いきいきサポートセンター(介護予防事業所)
☎ 080-6033-1199(古室)



渋川芸能保存会総会と 有志による再会の集い



▲双葉町ダルマ市での奉納神楽

9月8日、9日、磐梯熱海温泉のホテルにおいて、一泊二日の日程で渋川芸能保存会総会並びに、有志による再会の集いが開かれ、避難先から17人の会員が集まりました。

総会では、会長に横田清志さんが再任され、引き続き、今後の活動計画について話し合いました。

渋川芸能保存会は、震災前までは毎年、1月1日と7月23日の愛宕神社への神楽の奉納や8月13日の渋川地区盆踊り大会の開催、双葉町ダルマ市の奉納神楽大会に出場するなど長年にわたり活発な活動をしてきました。

渋川地区に伝わる芸能の火を絶やさないため、今後も定期的に集まりを持つことを約束し、再び渋川地区での活動を誓い合い、別れを惜しみながらそれぞの避難先に戻りました。

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所は、毎月県内5カ所で、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しております。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、資金・事業の紹介など)をわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にお越しください。

11月の日程は右記のとおりです。

*町村間わざに最寄りの窓口にお越しください。

*右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「**ふたばの農業通信**」に掲載しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯電話からご覧になります。(携帯電話のパケット料金にはご注意ください)

*時間:午前10時~午後3時(21日のみ午前中)

| | |
|--------------------|----------------------------------|
| 11月1日(木) | 三春貝山多目的運動公園管理棟 (葛尾村役場三春出張所) |
| 11月15日(木) | |
| 11月1日(木) | いわき明星大学 大学会館2階 (檀葉町役場いわき出張所) |
| 11月15日(木) | |
| 11月2日(金) | J Aあいづ本店3階 |
| 11月16日(金) | J Aふたば組合員サポートセンター |
| 11月8日(木) | 郡山市南一丁目応急仮設住宅集会所 (富岡町仮設住宅) |
| 11月9日(金) | 二本松市北トロミ 平石高田第二工業団地内 |
| 11月22日(木) | (浪江町役場二本松事務所) |
| 11月21日(水) ※午前のみ | 郡山市緑ヶ丘東七丁目応急仮設住宅集会所 (富岡町仮設住宅) |

【問い合わせ先】双葉農業普及所

☎ 0246-24-6044
FAX 0246-24-1142



みんなでまちづくりマイノートについて ～復興まちづくり計画の策定に向けて～

双葉町では、「双葉町復興まちづくり計画」の策定を進めています。

これまで、町関係団体等の代表者及び学識経験者等からなる「双葉町復興まちづくり委員会」を3回開催し、仮の町のあり方など当面の生活拠点や双葉町の復興、コミュニティの維持などについて検討を進めています。

また、多くの町民の方のまちづくりに関するご意見やご要望、ご提案を復興まちづくり計画に反映させるため、「7000人の復興会議」を開催しています。

「7000人の復興会議」へ参加する方法は、以下の3つの方法があります。

「7000人の復興会議」の参加方法

- ◇方法1：会議開催会場へ参加
各地で開催されるワークショップ会議へ参加する
- ◇方法2：インターネット会議へ参加
専用ホームページに登録して参加する
- ◇方法3：マイノートへ意見を記入
マイノートへ意見や要望などを記入する



▲柏崎会場

<方法3>：みんなでまちづくりマイノートについて

「みんなでまちづくりマイノート」を9月下旬に小学生以上の町民の方全員に送付しました。

このマイノートへ、個人としての意見や要望、提案などを自由にお書きください。ご家族やご友人などと相談しながら書いても結構です。

「子どもと安心できる場所に住みたい」、「先祖の墓を守りたい」、「早く自然豊かな双葉町へ帰りたい」、「仮の町を早くつくって欲しい」、「避難生活が大変」など、皆さまのご意見は、世代や家族構成、避難状況、関心事によって異なるものだと思います。そのため、世帯主だけを対象にしたアンケート方式ではなく、今回のような自分だけのノートを配付し、一人一人のご意見を復興まちづくり計画に反映させたいと考えています。

また、月日が経つにつれて皆さまの想いは変わるかも知れません。日記のように、今後の生活と双葉町の復興について、その日に想い、感じたことをお書きください。そのため厚めのノートにしています。

この「まちづくりマイノート」は、12月に回収用封筒を送付し回収する予定です。

町民皆さまのご意見をお寄せください。

※お手元にマイノートが届いていない場合は、下記連絡先までご連絡願います



▲東京会場



【問い合わせ先】

みんなでまちづくりサポート本部 担当：高柳、森田（受託先：株式会社エコエナジーラボ）
TEL/FAX：0120-805-346 お問い合わせ用Eメール：info@machisupport.jp

三字行政区からのお知らせ

「三字総会」及び再会の集いを下記のとおり開催しますのでご参加ください。

三字行政区長 加村 英敬

○開催日 12月1日(土)、2日(日) 1泊2日

○場 所 飯坂温泉プラザホテル吾妻

福島市飯坂町小瀧27-1

☎ 024-541-3855

○日 程 総 会 午後3時~

再会の集い 午後6時~

○申込締切 11月15日(木)

※会費が必要となります。詳しくは、下記までお問い合わせください。参加（宿泊）される方は準備の都合上、早めの連絡をお願いいたします。

＜連絡先＞ 加村英敬 ☎ 090-3123-0942
山口清一 ☎ 090-8784-6797

福島県借上げ住宅等終了(退去時)の手続きについて

すでに福島県借上げ住宅賃貸借契約を締結しており、現在入居している借上げ住宅とは別の借上げ住宅または建設型の応急仮設住宅に転居しようとする場合は、退去の手続きとして「借上げ住宅使用終了届」を提出してください。

手続きの流れは、以下のとおりです。

①入居者は使用終了届を作成するにあたり、入居名義人が必要事項を記入した後、貸主または貸主代理から確認の記名と押印をもらってください。

②記入・押印された使用終了届を双葉町埼玉支所に郵送等で提出してください。

(FAXは不可、原本を提出してください)

③双葉町で受領した終了届に基づき、町から福島県・貸主・仲介業者の申し入れを行い、契約の解除となります。

※自らが建設した住宅等に転居する場合も退去の手続きが必要です。退去の期日が決まりましたら、事前に埼玉支所住宅係までご相談ください。

＜問合わせ先＞双葉町埼玉支所総務課
☎ 0480-73-6880

下条行政区からのお知らせ

総会（大字会）及び交流会を下記のとおり開催しますのでご参加ください。

下条行政区長 藤田 博司

○開催日 12月2日(日)、3日(月) 1泊2日

○場 所 かんぽの宿「いわき」

いわき市平藤間字柴崎60

☎ 0246-39-2670

○日 程 総 会 午後3時~

交流会 午後6時~

○申込締切 11月12日(月)

※会費が必要となります。詳しくは、下記までお問い合わせください。参加（宿泊）される方は準備の都合上、早めの連絡をお願いいたします。

＜連絡先＞

藤田 博司 ☎ 090-5830-7988
上原 澄 ☎ 090-9749-6038
作本 信一 ☎ 090-7062-4083

相馬税務署からのお知らせ

年末調整説明会の開催について

福島県内各税務署において、平成24年分年末調整説明会の開催を予定しています。

詳しくは、源泉徴収義務者あてに送付しています年末調整関係書類をご確認ください。

なお、年末調整関係書類については、税務署にお届けのある住所あてに順次送付していきますので、送付されていない方につきましては、お問い合わせください。

＜問合わせ先＞

相馬税務署法人課税第一部

☎ 0244-36-3111

(音声案内で2番を選択してください)

よりそいホットライン

フリーダイヤル つなぐ ささえる

0120-279-338

どんなひとの、どんな悩みにも寄り添って、一緒に解決する方法を探します。

※電話相談の専門員がお待ちしています。ひとりで抱え込まずにお電話ください。秘密は厳守します。

一般社団法人 社会的包摵サポートセンター

メタボリックシンドromeと食事

メタボ

「メタボ」は内臓に脂肪がたまり、動脈硬化の危険因子である高血圧や高血糖、血液中の脂肪が多くなっている状態です。動脈硬化は脳梗塞、心筋梗塞といった命にかかる大きな病気の原因になります。



2008年から健康診断で、腹囲(へそまわり)の計測という項目が追加されました。男性は85cm、女性は90cmが、内臓脂肪がたまっているとされるめやすです。

内臓にたまたま脂肪は、皮下脂肪に比べると食事や運動で、簡単に落とすことができます。しかし、食事を減らすのは苦痛になります。なぜなら食事は、ただ必要な栄養を体に入れることではなく、私たちにとって楽しみやストレス解消のひとつでもあるからです。

体重を1kg落とすと、腹囲が1cm減ると言われています。体重1kgに相当する食事のエネルギーは、7,000キロカロリーです。1カ月で1kgの減量を目標とするなら、1日240キロカロリー、つまり毎日の食事からごはんお茶碗1杯分減らせばよいことになります。

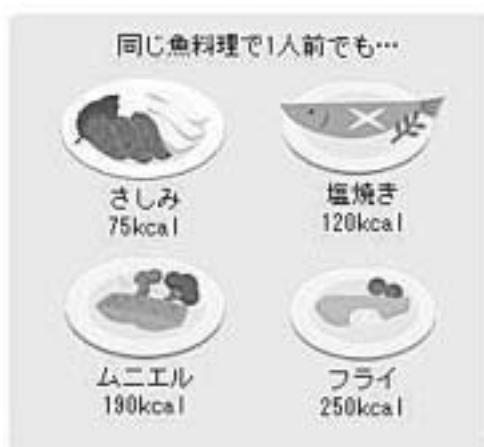
今の食事の脂肪が多いなら、揚げる、炒めるといった調理法を煮るや焼くに変えると、エネルギーを減らせます。今回紹介するレシピは、電子レンジを使ったかぼちゃの煮ものです。電子レンジを使うと、油や調味料の使用量を減らせるだけでなく、調理の時間も短縮できます。

健康のために適正な体重にすること(ダイエット)や、減らした体重を維持するためには、食事だけでなく運動も取り入れるのが効果的です。

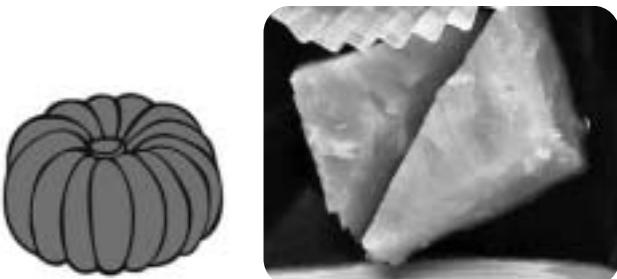
メタボになりやすい習慣

- 食事は満腹になるまで食べる
 - 間食をよく取る
 - 料理に砂糖をよく使う
 - 濃い味付けが好き
 - 緑黄色野菜をあまり食べない
 - アイスクリームを好んで食べる
 - 普段から階段を使うことが少なく、エレベーターなどに乗ってしまう
 - 運動の習慣がない
 - ストレス解消にお酒を飲むことが多い
 - タバコを吸っている
- 当てはまるものが
多い人は要注意！

調理法によってエネルギーは異なります



レシピ かぼちゃの煮もの (1人分)



(材 料) かぼちゃ 1/4個

(調味料) しょうゆ 大さじ1杯半、みりん 大さじ1杯、砂糖 小さじ1杯、水 大さじ2杯

(準 備) かぼちゃの種とワタを取り除き、半分に切る。味がしみこみやすいように、皮をところどころ切り落とし、約3cm角に切る。調味料と水は混ぜておく。

(作り方)

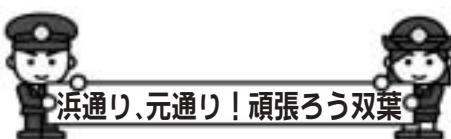
①耐熱皿(ガラス製またはシリコン製のもの)に、かぼちゃの皮を下にして並べ、上から調味料を回しかける。

②ラップをふんわりとかけて、電子レンジにかける。時間は600Wで約6分、一度取り出して、スプーンや箸を使って煮汁をからめるように混ぜる。ふたたび皮を下にして、ラップをかけ直し、約10分間おいておく。



シリコン製の耐熱皿でふたがついているものを使えば、ラップは不要です。加熱後そのままふたをして蒸らしましょう。

※電子レンジをかけた後の耐熱皿は熱くなっています。またラップを外すときも、高温の蒸気が出るので、鍋つかみ等を使いましょう。



浪江消防署からのお知らせ

—11月9日から15日まで秋季火災予防運動が実施されます—

消すまでは 出ない行かない 離れない

寒い季節を迎えると、火気の使用が増えてきます。火の元・火の取扱いには十分注意してください。

また、11月3日より6巡目の一時帰宅が開始されています。帰宅時に家のゴミ等（家庭用ゴミ・枯れ草などを外で燃やす行為はしないようにお願いいたします。

火災予防のポイント

- ①ストーブの周囲には、燃えやすいものを置かない。
- ②風に強い日や燃えやすい物のそばでたき火をしない。
- ③タバコの吸い殻をゴミ箱に捨てない。寝たばこをしない。
- ④天ぷら油は加熱しすぎない。コンロから離れる時は必ず火を消す。
- ⑤家の周りに燃えやすいものを置かない。ご近所で放火されない環境づくりを心掛ける。



＜問い合わせ先＞
浪江消防署
富岡消防署川内出張所
☎ 0240-38-2119



介護保険に関するお知らせ

介護サービス利用料の免除について

双葉町の介護保険被保険者の方の介護サービス利用料については、平成25年2月28日まで減免となっております。

また、引き続き介護保険被保険者証の提示により介護サービスの利用ができますので、免除証明書の提示は必要ありません。

介護保険料について

双葉町の65歳以上の方（第1号被保険者）の平成24年度介護保険料につきましては、減免となります。

※平成25年度の介護保険料の取扱いについては、追ってお知らせいたします

要介護・要支援認定更新について

要介護・要支援の認定を受けている方の更新につきましては、厚生労働省からの特例省令により有効期間を延長する取り扱いがなされています。

現在の認定有効期間が平成25年3月31日までの方につきましては、更新の手続きは必要がなく、有効期間の切れる10日前を目安に新しい保険者証を郵送いたします。

＜問い合わせ先＞
健康福祉課 福祉介護係
☎ 0480-73-7682



第2回手作り作品展in騎西のお知らせ



○日 時：11月8日(木)～11日(日)午前10時～午後4時

○場 所：加須市旧騎西高校 生徒ホール

○内 容：写真展とコミュニティカフェ

（旧騎西高校の様子を取材していた読売新聞写真部
池谷美帆さんと東京新聞記者増田紗苗さんの写真展）

・8日(木) 午後1時～午後4時

「震災から1年あなたのことを見忘れない」

上映会＆お話会

・10日(土) 午後1時～

白須むつみさんの編み物教室

・11日(日)

手作り作品展示…双葉町の皆さん的作品展

（編み物やアクセサリー、絵手紙、習字などを展示）

唄うたい 宮戸一賀のライブ

・午前11時～

・午後2時～



▲昨年の作品展

お出かけ
ください

＜問い合わせ先＞

傾聴＆あなたのしたいこと

サポートボランティア福祉班

☎ 048-770-5272



多重債務・資金業に関する相談窓口

福島財務事務所では、返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。抱えている借金の状況をお聞きし、必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引き継ぎを行います。相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。

また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む、いわゆる「ヤミ金融」には十分ご注意ください。ご利用されている貸金業者の登録状況に関する問い合わせや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

・相談窓口…福島市松木町13-2

福島財務事務所 理財課

・受付時間…月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
午前8時30分～午後5時15分

＜問合わせ先＞ 福島財務事務所

☎ 024-533-0064 多重債務相談窓口直通
☎ 024-535-0303 理財課

平成24年度

「森を木づかうふくしま住まいの事業」のご案内 追加募集

～ふくしまの木をつかった家づくりを応援します～

低炭素型社会の実現と地域住宅産業の活性化を図るために、県内に自ら居住するための木造住宅を建設する建て主の方に対し、建設経費の一部を助成いたします。

被災された方の住宅再建をはじめ、家づくりをお考えの方は、ぜひ本事業を活用してください。

補助額 1戸あたり30万円

応募締切 11月14日㈬

募集戸数 100戸

（応募数が募集戸数を超えた場合は、抽選を行います）

抽選日 11月20日

＜問合わせ先＞福島県土木部 建設指導課

☎ 024-521-7528

次の要件をすべて満たす戸建て（木造）住宅に助成します。

○福島県内に自ら居住すること

○施工者の主たる営業所は県内にあること

○住宅部分の延床面積が70m²以上あること

○住宅部分の使用木材の1/2以上が県産木材であること※1

○平成24年度内に着工及び竣工すること※2

○県産木材のPR等に協力いただくこと

※1 延床面積 (m²) ×0.192 (m²/m²) ×1/2以上

※2 補助金交付決定前に竣工している住宅は対象外

平成25年3月29日までに竣工すること

詳しくはお問い合わせください。



抜歯をとっておきましょう ストロンチウム90

福島第一原子力発電所の事故により、大量の放射性物質が大気や海へ放出され、各地で人体への影響が懸念されています。

ホールボディカウンターで検出される放射性物質のセシウム134と137は主に筋肉に取り込まれ、毒性の強いストロンチウム90は歯や骨に蓄積します。

ストロンチウムは乳幼児ほど骨に沈着しやすく、成長するほど骨から除去されにくいうことが確認されており、被ばくした住民の抜歯にはストロンチウムがかなり沈着したままになっていると考えられます。

抜歯は長期保存が可能なので、数十年後の調査、分析にも役立てるすることができます。空き容器に**氏名、生年月日、住所、歯が抜けた日を書いて保存**しておいてください。

倍く、性など危険性はいわれています。
減期は29年と長く、また、その半
毒性が強く、放射性物質のひとつで、
性など人体への影響がセシウムがの大きさ
減期は29年と長く、また、その半
毒性が強く、放射性物質のひとつで、
性など人体への影響がセシウムがの大きさ

福島県からのお知らせ

原子力損害賠償に係る

巡回法律相談のご案内

福島県では、福島県弁護士会と連携し、弁護士による対面の法律相談を実施し被害者の皆さまを支援しております。

相談料は無料ですので、請求手続きにおける不明な点などお気軽にご相談ください。

なお、事前予約制としておりますので、右記までご連絡いただきますようお願ひいたします。

巡回法律相談実施予定 11月～12月

| 実施市町村 | 実 施 日 | 実施会場（所在地） |
|-------|--|--|
| 福 島 市 | 11月28日(水) 12月19日(水) | 福島県青少年会館 第6研修室 (福島市黒岩字田部屋53-5) |
| 二本松市 | 11月21日(水) 12月12日(水) | 福島県二本松合同庁舎 2階会議室 (二本松市金色424番地の1) |
| 伊 達 市 | 11月14日(水) 12月 5日(水) | 福島県伊達合同庁舎 1階会議室 (伊達市保原町大泉字大地内124番地) |
| 郡 山 市 | 11月14日(水)、21日(水)、28日(水) 12月 5日(水)、19日(水)、26日(水) | 福島県郡山合同庁舎 第4会議室 (郡山市麓山1-1-1) |
| 白 河 市 | 11月 8日(木)、15日(木)、22日(木) 12月 6日(木)、13日(木)、20日(木) | 白河商工会議所 会議室 (白河市道場小路96-5) |
| 会津若松市 | 11月 8日(木)、20日(火)、30日(金) 12月 6日(木)、13日(木)、20日(木) | 福島県会津若松合同庁舎 本館1階会議室 (会津若松市追手町7-5) |
| 南会津町 | 11月 2日(金) | 南会津町商工会田島本所会館 2階会議室 (南会津町田島字行司12) |
| | 12月 7日(金) | 南会津町商工会館岩支所会館 2階会議室 (南会津町松戸原156) |
| | 12月12日(水) | 福島県南会津合同庁舎 4階会議室 (南会津町田島字根小屋甲4277-1) |
| 相 馬 市 | 11月15日(木) 12月13日(木) | 相馬市役所分庁舎 第1会議室 (相馬市中村字大手先13) |
| 南相馬市 | 11月 8日(木)、22日(木) 12月 6日(木)、20日(木) | 福島県南相馬合同庁舎 402会議室 (南相馬市原町区錦町1-30) |
| いわき市 | 11月 6日(火)、13日(火)、20日(火) 12月11日(火)、18日(火)、25日(火) | 福島県いわき市合同庁舎南分庁舎 3階中会議室 (いわき市平字梅本15番地) |

11月は…エコドライブ推進月間です

— 地球とお財布にやさしいエコドライブを始めよう！ —

警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省で構成する「エコドライブ普及連絡会」では、行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなる11月を、「エコドライブ推進月間」と位置付けています。

双葉町表彰式

について

平成24年度双葉町表彰式は

平成25年1月に予定しています。

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りやメールの一部をご紹介いたします

双葉の風だより

逝った義母上様へ

袖原 秀康（三手）
補作 渡 眞魚

義母上様

長い闘病生活 ほんとうにご苦労様でした。
義母上様 さぞかし辛かつたでしょう。
みどり豊かな故郷へ帰りたかったでしょう。
今ここに釈迦如来となってしまい、

永遠の望みを抱きながら
双葉に帰ることが叶わなかつた無念さは
いかばかりでしょうか。
私たちも、いつか近いうちに双葉に戻れる
ことを信じて止みません。

義母上様 その時までお守りください。

震災前は、何やかんやと、事あるごとにご面倒をおかけいたしました。
毎日、日課の如く散歩しながら、私の家に立ち寄っては、お茶を飲みながら孫、ひ孫の話を、
目を細めながら喋る義母上様のお姿。
今となつては、もうお会いできません。
楽しかったことだけ想い出されるのは、なぜでしようか。
私は義母上様を双葉でお見送りできなかつたことが悲しく、悔しい思いです。
それでは義母上様、
これからも天国よりお守りください。
そして時代の唄を歌いながら、
好きな散歩を何処までも

朝夕の風もようやく秋らしくなつてしまりました。

町長さんははじめ役場職員の皆さま、毎日のお仕事、本当にご苦労様でございます。季節の変わり目ですので、十分体にご留意くださいますようお祈り申し上げます。

先日、利根川堤防の曼珠沙華の群生地を散策してきました。季節の花を眺め、夕べに虫たちの調べを耳にする時、やはり双葉の風景が重なり思わず胸が熱くなるのを覚えます。一日も早い町の再生を祈り、毎日を過ごしております。

- ・ 曼珠沙華 彼岸の中日を待つて咲き
- ・ 暮れ染める 路傍にぎわし 虫の声
- ・ 虫の音に癒され眠る 仮の宿

武内 恒雄（長塚二）

神社にて 秋空の下 眺むれば
指呼の間に見ゆ 破壊原発

羽山神社：細谷地区で最も小高い位
置にあり、境内からは、細谷地内は
もちろん東電福島第一原発も一望で
きる

・ 秋の陽に 荒れて無人の 我が家かな
九月二十二日、一時帰宅時の印象を
読みました。

大橋 康一（細谷）

須賀川からの便り

お彼岸も過ぎ大変過ごしやすい時候となりました。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

ここ須賀川市に避難して1年半となり、中通りの気候を体験し、浜通りとの気候の違いを実感しております。浜通りの気候が海洋性気候とすれば、中通りは大陸性気候に近いように感じております。しかし、この地が大好きになり、ほぼ充実の毎日でござります。

さて、原発事故については、東電と政府の責任は極めて重大であります。しかしこれは、われわれに課せられた試練なのかもしれないです。この試練を乗り越え、次の世代にはこのような禍根を残さず、影響を最小限にとどめるように、所謂「脱原発依存」を実現できますように努力することを、われわれの世代は自覚すべきではないでしょうか。

たとえ原発が無くとも、空に太陽がある限り自然エネルギーは無限です。そしてそれを有効にかつ効率よく活用することを肝に銘じ、これを実現できるように今こそ人類はその叡智を結集すべきではないでしょうか。

かつて、広島・長崎は人類史上初の核の洗礼を受け、多くの犠牲者を出したましたが、3、11の事故はこれに近いのかもしれないです。しかしこのような過ちを再び繰り返すことは、決して許されないです。

原発事故避難民として、この思いを改めて強く感じている今日この頃でございます。

10月 須賀川市にて

吉室 仁（浜野）

避難生活が続く中、全国に避難されている町民の皆さまの声を「双葉の風だより」のコーナーで紹介するため、皆さまからのお便りを募集しています。

現在の生活の様子、避難先の地域のこと、町民の皆さまに伝えたいことなどなんでも結構ですので、皆さまの声をお寄せください。

【問い合わせ先】

秘書広報課 秘書広報係
☎ 0480-73-6880(代表)

仮設住宅への入居者募集(継続)

1. 募集物件 (10月 7日現在)

| 地区 | 間取り | 募集戸数 | 住 所 |
|-----|-----|------|----------------------------------|
| 福島市 | 2 K | 16戸 | 飯坂町平野字内小原田 8-1 |
| | 3 K | 17戸 | |
| | 計 | 33戸 | |
| 郡山市 | 1 K | 1戸 | 富田町町田15 |
| | 計 | 1戸 | |
| | 1 K | 4戸 | 喜久田町早稲原字上ノ端54-4 (3Kはペットゾーンのみ) |
| | 2 K | 12戸 | |
| | 3 K | 2戸 | |
| | 計 | 18戸 | |
| 白河市 | 1 K | 1戸 | 日和田町高倉字諏訪前82 |
| | 2 K | 9戸 | |
| | 3 K | 11戸 | |
| | 計 | 21戸 | |
| 白河市 | 1 K | 2戸 | 郭内151 |
| | 2 K | 27戸 | |
| | 3 K | 20戸 | |
| | 計 | 49戸 | |

[問い合わせ先] 双葉町福島支所 ☎ 024-973-8090 FAX 024-933-5124

福島市吾妻通り
イルミネーション
イベント企画

「スペシャル・ウェディング」 参加者募集

福島市の中心市街地では、5年ほど前から、人通りが少なくなる冬季に来街の機会を増やすため、冬のイルミネーション事業を開催し、たくさんの方々にご好評をいただいています。

今年度は、一層の来街者増と避難を余儀なくされている方々への応援の意味も込めて、吾妻通りにある公共スペース「さんかく広場」に創出するイルミネーショントンネル「銀河の小径」を利用して、浪江・双葉・飯館の方を対象にした「模擬結婚式」を企画しました。皆さまのご応募をお待ちしています。

○開催日時…12月22日(土) 午後5時～

○応募資格

- ・ご夫婦お二方のうち、どちらか（または双方）が浪江町・双葉町・飯館村の出身であること。
- ・新婚夫婦に限定しません。年齢制限もありません。
- ・事情があって結婚式をあげられなかつた方やベランカップルの思い出づくりでも結構です。

[問い合わせ先] 吾妻通り協栄会 イルミネーション事業事務局<ぶらっとWeb放送内>

☎ 024-597-7381

2. 募集締切 当分の間受付をします。

窓口受付時間：午前9時から午後5時まで

3. 応募方法

双葉町仮設住宅入居申請（抽選申込）書に必要事項を記入の上、双葉町福島支所へお申し込みください。直接お越しになれない場合は、申請書をファックスまたは郵送にてお申し込みください。

※3Kは3名以上で受け付けします。

※被災証明または罹災証明の写しを付けてお申し込みください。

※お電話、Eメールでの申請は受け付けできません。

4. 入居時期 入居決定次第順次入居可能

5. 入居期間

原則として1年間、ただし、特別な事情がある場合のみ最長平成26年3月31日まで

6. その他

各地区にペット飼育可能な区間を一部設けますが、応募多数の場合は抽選となります。

※住宅の家賃は無料です。駐車場は1世帯1台です。

※エアコン、ガスコンロ、テレビ、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、洗濯機、ポットは備えてあります。

※電気、水道、ガス料金、食費などの経費は入居者の負担となります。

- ・お名前や写真を新聞、ポスター等広告媒体に公開しても良い方。

○エピソードの提出

- ・スペシャルウェディング企画への、応募の動機や理由を教えてください。

○当会で無料でご提供するもの

- ・結婚式用貸し出し衣装（洋装・男女とも）
- ・新婦様へのメイク、ヘアメイク
- ・プロ写真家による写真撮影、記念写真（数点）
- ・人前結婚式の司会進行
※牧師や仲人を立てずに、参集した方全員が立会人になる結婚式

○当選された方にご用意いただくもの

- ・お友達、ご家族への招待状
- ・引き出物、プレゼント、菓子撒き用のお菓子、お酒や食べ物等
- ・会場までの交通費
- ・その他 前項に記載されていないもの

○採用・抽選

- ・採用…1組
- ・募集締め切り…11月末日



ぼくの夢・わたしの夢



双葉北小学校 6年 佐藤 彩乃さん
(現在:白河立白河第二小学校)

私の将来の夢は、看護師になることです。

その理由は、お母さんが看護師をしているので幼稚園の頃からお母さんみたいになりたいと思っていたことと、震災の時、お母さんは病院にいる患者さんのために朝早く病院に行き、一生懸命働いていました。

私も病気の人のために働き、人を笑顔にできる仕事に就きたいと思います。

今、私が白河市に避難してきてがんばっていることは陸上です。種目は長距離走です。大会で良い結果が出せるように毎日練習しています。

私は今できることを一生懸命がんばって、将来はお母さんのような看護師になりたいと思います。

国内外の皆さんから千羽鶴や絵手紙、激励のお言葉などをいただいている



▲7月27日、9月7日にNTT労働組合東日本本部様より車イス2台をご寄附いただきました。



▲9月28日 埼玉県久喜市、久喜精工株式会社様より義援金をいただきました。



佐藤孝郁くん(3歳)、祐亮くん(1歳)
お母さんの久美子さん(郡山)

アンパンマン大好き!

▲現在、茨城県笠間市にお住まいです。

双葉町民の避難状況

(平成24年10月15日現在)

- ・福島県内に避難されている方 3,658人
- ・福島県外に避難されている方 3,312人

ー お知らせ ー

広報ふたばは、毎月世帯主の方にお送りしていますが、家族が離れて暮らしている等、世帯主以外の方で郵送を希望される場合は、双葉町総合受付コールセンター（☎0120-455-770）までご連絡ください。

双葉町では、町民の皆さまの**所在の把握**を行っています。これまで滞在されていた場所から移動された場合や借り上げ住宅、仮設住宅等に移られた場合もご連絡をお願いいたします。

○総合受付 コールセンター 0120-455-770

埼玉支所

〒347-0105

埼玉県加須市騎西598-1 旧騎西高校内

☎ 0480-73-6880 FAX 0480-73-6926

✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

福島支所

〒963-8024

福島県郡山市朝日一丁目20番2号

☎ 024-973-8090 FAX 024-933-5120

✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式 臨時サイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/>
ホームページ 臨時モバイルサイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/mobile/>

連絡先